

## 平成 27 年度の南多摩病院リハビリテーション科活動報告

寺西紗希 三輪真紀 清水愛璃 倉田考徳 大淵康裕 井出 大  
医療法人社団永生会南多摩病院リハビリテーション科

## 【はじめに】

当院は西八王子駅前に位置する一般病床 170 床からなる 2 次救急指定病院である。今年度は救急棟 7 階に移転し 3 年目を迎え、さらなる体制強化と質向上に努めた 1 年となった。ここに取り組みの概要を報告する。

## 【体制】

## 1. 人員体制

今年度の人員体制は理学療法士 23 名（昨年度比 2 名増）、作業療法士 6 名（昨年度比 1 名増）、言語聴覚士 5 名（昨年度比 1 名減）、助手 1 名、事務 2 名の計 37 名であり、100 床換算人員数では 13.52 名（全国急性期病院平均 2.8 名）であった。

## 2. 施設基準

取得済施設基準は脳血管疾患等リハビリテーション料 I、運動器リハビリテーション料 I、呼吸器リハビリテーション料 I、心大血管リハビリテーション料 I、がん患者リハビリテーション料である。

## 3. 組織体制

当院では入院患者および外来患者を対象としている。入院においては病棟担当制にて内科病棟、外科病棟、整形外科・循環器・泌尿器科病棟の 3 つのチームに分かれており、土日祝日もリハビリテーション提供体制をとっている。

## 【主な取り組み】

## 1. 病棟や主治医との他職種連携の推進

病棟担当制のもと、週 1 回のカンファレンス、月 1 回の管理者による病棟との連絡会、積極的な病棟介入により互い相談し相談される関係性が構築されてきている。そのため病棟看護師から主治医へリハビリテーション処方の上申頻度が増えてきており、入院患者におけるリハビリテーション実施率も向上している。

## 2. 質の向上と効果判定

## ① 1 日提供単位数

当院は 7 : 1 看護体制をとる急性期病院であるが、1 患者あたりの提供単位数は 5.2 単位で急性期病院における全国平均 1.8 単位を大きく上回っていた。

## ② FIM（機能的自立度評価法）

脳血管疾患等リハビリテーション料 I 算定患者では入院時平均 49.43±31.8 点、退院時平均 69.33±41.4 点であった。脳血管疾患等リハビリテーション料 I（廃用）算定患者では入院時平均 49.29±29.1 点、退院時平均 62.38±35.1 点であった。運動器リハビリテーション料 I 算定患者では入院時平均 67.73±28.6 点、退院時平均 87.19±32.1 点であった。呼吸器疾患リハビリテーション料算定患者では入院時平均 49.94±32.1 点、退院時平均 63.69±38.1 点であった。心大血管リハビリテーション料算定患者では入院時平均 63.63±31.5 点、退院時平均 88.14±32.8 点であった。がん

患者リハビリテーション料算定患者では入院時平均  $73.06 \pm 36.6$  点、退院時平均  $98.92 \pm 33.5$  点であった。